

事業名 CD	0106010407	米消費拡大推進事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	300100	農林課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	環境と調和した農林業の振興
	小項目	農林業の振興
関連する個別計画等	0	根拠条例等
関連する事業	生産調整推進事務	

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	地元産米の消費拡大を図り、地産地消を推進する
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	消費者
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( <input type="checkbox"/> ) 武田の里祭りのイベントの一環として「米」をテーマにしたイベントを実施。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	市内外の消費者に対する米消費の拡大を図ることで、地元産米をPRし、地産地消の拡大につなげる

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)			32
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源			32
B	担当職員数(非常勤   職員E) (人)			0.13
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	0	887
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	919
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	29 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。  
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。  
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	イベント回数	(回)			1
成果指標	来場者一人当たりの米配付量	(g) 配付量/来場者数(=300Kg/約750人)			400
効率指標					

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> C 妥当でない JA等とタイアップし、市外へのイベント参加により広くPRすることが必要。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 全国でも有数の米産地であるにも関わらず、生産調整制度の縛りがあるため十分な生産量が確保できない。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない イベントでのPRを手法としている現状においては、低予算でイベントが組めているのでほぼ効率的であると考えます。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 高品質の地元米ブランドを確立するために、米を安定的に生産できる体制を検討、支援する。	(2) 23年度 市内生産米の流通経路をJA等と連携し分析し、戦略的にPRできるものを重点化し、市内外の学校給食現場や飲食店等で地産地消として消費される構造を構築する。	(3) 22年度 関係課との連携を図り「ご飯の良さ」「安全安心」「健康」をキーワードにした事業を武田の里祭で展開する
	21年度の改善計画 目的を明確化する	21年度の改善結果 地元産米のPRを狙ったイベントの企画を実施した	

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 他課・梨北農協と連携を密にし地元米の消費拡大やPRの方法を検討する
--

課長所見	時代と共に、食の個食化・簡便化が進む今、JA梨北との連携を図り、市のイベントを通じて米消費の拡大に向けたPRを実施。今後は、PRのみに留まらず、他課との連携・JA梨北等々と共同し、食育の更なる推進を検討する中で、米どころでの米消費の拡大を図っていく。
------	---